

2026年1月27日時点

<JCIメンバー限定招待>
スポーツ×サステナビリティ
Sport Positive CEO 来日記念イベント

気候変動イニシアティブ（JCI）は、Sport Positive CEO の Claire Poole 氏の来日にあわせ、スポーツとサステナビリティをテーマにしたイベントを、[一般社団法人 SDGs in Sports](#) と共催します。

近年、スポーツは競技や興行としての価値に加え、企業・自治体・地域と連携しながら、社会課題の解決と事業価値を同時に生み出す「プラットフォーム」として、その役割を大きく広げています。特に欧州や北米では、リーグやクラブがサステナビリティを経営戦略やブランド価値、スポンサーシップ、地域連携に組み込み、スポーツビジネスの競争力を高めながら、その求心力を気候変動対策の推進に貢献させる動きが加速しています。

本イベントでは、こうした潮流を牽引・後押しする国際イニシアティブ Sport Positive の CEO Claire Poole 氏より、スポーツ分野におけるサステナビリティの国際的な取り組み事例をご紹介します。また、自治体・企業・地域との連携を進める国内スポーツ団体を迎えたパネルディスカッションを行います。日本のスポーツビジネスの現場でのサステナビリティの実践、スポーツチームと自治体・企業の連携が生む事業機会、スポンサー企業がスポーツを通じて発信するサステナビリティ価値について、具体的な実践をもとに議論を深めます。

スポーツを起点に、社会課題への対応と企業価値の向上をいかに両立させるかを考える機会として、ぜひご参加ください。

◇日時：2026年1月27日（火）15:00-17:00（14:30 受付開始）

◇場所：日比谷国際ビルコンファレンススクエア 8C

（東京都千代田区内幸町 2 丁目 2-3 日比谷国際ビル 8階 [アクセス](#)）

◇参加方法：対面 80 名／オンライン

◇共催：気候変動イニシアティブ（JCI）、一般社団法人 SDGs in Sports

◇参加費無料・要事前登録

◇日英同時通訳あり

◇対象：全ての JCI メンバー

主に下記に該当する方の積極的なご参加をお待ちしています。

- ・ スポーツビジネスに関わる企業担当者
- ・ 企業のサステナビリティ／ESG／広報担当者

- ・ スポーツイベントでのソリューション提供に関心のある企業（EV、リサイクル、廃棄物削減など）
- ・ 自治体のスポーツ政策・地域連携担当者
- ・ その他スポーツに関係する業務や活動に従事している方、関心のある方

※取材をご希望の場合は、事前に事務局までご相談ください。

◇**対面参加申込フォーム** <https://business.form-mailer.jp/fms/db227bca327395>

◇**オンライン参加申込フォーム**

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_6GYKf5KDTsOIB_GyoTAFfg

◇**プログラム：**

- ・ 基調講演「スポーツ気候行動枠組みと世界の動向（仮）」
- ・ パネルディスカッション

◇**登壇者：**

- ・ クレア・プール 氏（Sport Positive 創設者及び CEO）
- ・ 鬼寅 紘史 氏（F1 鈴鹿／ホンダモビリティランド株式会社 経営企画部 サステナビリティ委員会 事務局長）
- ・ 瀬田 元吾 氏（水戸ホーリーホック 執行役員／GM 補佐／事業統括本部長）
- ・ 井本 直歩子 氏（一般社団法人 SDGs in Sports 代表理事）

=====

Sport Positive 及びクレア・プール氏について

Sport Positive は、スポーツを通じて環境持続可能性を推進する国際的なプラットフォームであり、スポーツ団体と企業が実践的にサステナビリティへ取り組むための枠組みを提供しています。中核となる Sport Positive League は、世界の主要スポーツリーグやクラブの環境パフォーマンスを評価・可視化する国際的な指標で、「気候変動対策」「エネルギー・資源管理」「ガバナンスや透明性」「社会への影響」といった複数の観点から取り組みを「見える化」し、競争と協働を通じて行動変容を促す仕組みを構築しています。この Sport Positive League に Jリーグがアジアで初めて参画し、2月から始まる新シーズンより全 60 クラブで横断的に取り組みます。創設者兼 CEO のクレア・プール氏は、スポーツとサステナビリティ分野における国際的な専門家であり、20 年以上にわたり国連、UEFA（欧州サッカー連盟）をはじめとする国際

機関、国際大会、プロスポーツリーグ、企業と協働してきました。スポーツの影響力を環境・社会課題への対応、さらには企業価値や社会的信頼の向上へとつなげる実践的な枠組みづくりをリードしてきた人物です。

団体 HP : <https://www.sportpositive.org/>

記事（日本語） : <https://forbesjapan.com/articles/detail/87151#>

ホンダモビリティランド株式会社（鈴鹿サーキット）について

鈴鹿サーキットは、2030年カーボンニュートラルの実現を目指し、モータースポーツの魅力を保ちながら持続可能性を高める新しい集客スポーツの形に挑戦しています。2025年のF1日本グランプリでは、3日間で累計26.6万人の来場者を迎え、環境配慮型イベントとしても注目を集めました。2023年には国際自動車連盟（FIA）の環境認証プログラムにおいて、17の評価項目に基づく審査を経て2つ星を獲得。その後も環境マネジメント体制を強化し、持続可能な未来づくりへの取り組みが評価され、2024年には最高位である3つ星認証を取得しました。また日本の企業・団体として初めて「Sport Positive Awards 2025」Transformation部門においてファイナリストにノミネートされました。

水戸ホーリーホックについて

水戸ホーリーホックは、ホームタウンがある茨城県が抱える耕作放棄地の増加という『地域課題』と、地球温暖化や気候変動といった『社会課題』に向き合うため、ソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）を活用したGXプロジェクトを立ち上げました。

このプロジェクトでは、地域の耕作放棄地を再生しながら新しい価値を生み出していくことを目的としており、そこで作られる電気は圃場がある城里町の2つの道の駅に売電し、また畑で作られる農作物はホーム試合でファン・サポーターに販売していくことで、“地域循環共生圏づくり”を実現しています。

なお、農作物については有機JAS取得を目指し、化学肥料を使用しない形での栽培を行っています。それ自体もCO2排出を削減する気候アクションになっています。

取り組み紹介動画 : <https://www.youtube.com/watch?v=0bznMeqwgJQ&t=6s>

【問い合わせ】

気候変動イニシアティブ（JCI）事務局

activities@japanclimate.org